

上と同じ出来事に言及した言者のハディスは、他にもいくつか存在しています。それらのハディスにおいて、彼はそれらの兆候が最の兆候である、と明に指摘したわけではありません。言者はそれらの出来事が生ずる前に善行を行うよう、い警告をしたのです。なぜならそれらの出来事はのわり、そして判の始まりを告げ知らせるものだからです。アブフライラは神の使徒がこう述べたことをえています。

??

このハディスで言者が言及した「あなたがたの死」も特にします。これも「最の」の兆候の1つです。最の大きな兆候を学ぶこと、知ることは重要で味深いことでもあります。最の日々を目することのない人々にとっては、彼らの死が最であり、彼らはその支度をしておかなければなりません、多くの人々はそれにして着です。そのため、あるベドウィンが言者をれて「最のはいつですか?」といたとき、言者はある男を指差して、こう言ったのです。「この子が生きえ、年老いたになると、あなたのはすでに起きていることでしょう。」(サヒフブハリ)

大きな兆候が生ずる 序と性

ユスフアル=ワビルは、判の日の大きな兆候が生ずる序にしての明なテキストは、出来なかったとしています。既述されたような、兆候のいくつかをまとめて述べるハディスでは、「そして」「または」を意味する接が付属しており、直接的なび付きはありません。どちらの場合も、接は出来事の序について示唆してはいません。事、アル=ワビルが述べるように、同のハディスでは、出来事がなる序によって言及されているのです¹。

一方、イブンハジャルは大きな兆候を2つのカテゴリに分しました。第1のカテゴリが第2のものよりも先に起きるというものです²。第1のものは、この地球の性が完全にわらない内に起きるものです。それらの兆候は人々の目をまし、神への悔悟へり立てるはずで、それらの兆候が起きている最中は、信仰者と不信仰者の区は究的に存在せず、活に近いことを疑わせる要素も一切存在しません。この第一のカテゴリに含まれる兆候には、ダッジャルの出、イエスの再、

ゴグとマゴグ、そして地滑りがあります。

大きな兆候における第2のカテゴリでは、 に 活の が起きていること、そしてこの世の わりになることが、 の目にも明らかとなる 合です。それらに加え、信仰者と不信仰者は 区 されます。それゆえ、それらの兆候が起きた は、神への悔悟は出来ません。その になっ て悔悟をしても手 れであり、もう神によって められないのです。このカテゴリに おける兆候としては、 と の出 、そして西から昇る太 などが あります。

また、これらの兆候が れるときには、どうやらそれぞれの兆候がより早いペ スで次々 と れるよう です。 言者は述べています。

“??”⁴

またアフマドは彼のムスナド（ 承集）において、 言者がこう述べたと しています。

“??”⁵

Footnotes:

- ¹ Yoosuf al-Waabil, *Ashraat al-Saa'ah* (Al-Damam, Saudi Arabia: Maktabah ibn al-Jauzi, 1989), pp. 183-186.
- ² Ahmad ibn Hajar, *Fath al-Baari bi-Sharh Saheeh Al-Bukhaari* (Riyadh: Idaarah al-Buhooth al-Ilmiyyah, n.d.), vol. 11, pp. 352-353.
- ³ Cf., ibn Hajar, vol. 13, p. 77; al-Waabil, pp. 188-189.
- ⁴ アッ=タバラ ニ のアル=アウサ トにおける 。
- ⁵ アフマドによる 。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/614>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2024 IslamReligion.com. 断 を禁じます。